

# 膨大な資料と綿密な調査で昭和天皇の戦争責任を問う大河ドキュメント

## 注文書

貴店名・結合

緑風出版

〒113東京都文京区本郷一八二

〇〇三二八二二九四二〇

お名前

ご住所

田中伸尚君  
ドキュメント 昭和天皇

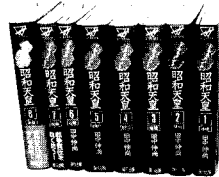
第 8 巻  
第 8 巻  
セット

電話

切取り線

## 書評再録

- 第1巻「侵略」―夕刊フジ(84・8・28「終戦翌断」)をもって天皇の平和意志とする著作が多い中、本書は批判的論点を展開する。
- 第2巻「開戦」―週刊ポスト(85・9・20号) 裕仁個人だけでなく政府軍、元老等支配層中心部の動きを多角的にとらえ、また戦争にまき込まれてゆく民衆の心事までも幅広く追っている。
- 第3巻「崩壊」―毎日新聞(86・2・3) 膨大な原資料にあたって「大元帥」としての軍人天皇を浮き彫りにする。
- 第4巻「敗戦・上」―朝日新聞(87・7・6) 戦争を個人人間・民衆の立場から見直す努力として執筆されている大河ドキュメント。
- 第5巻「敗戦・下」―サンデー毎日(88・5・29号)「聖断」によって「終戦」へという方式は、天皇制を維持しようという木戸幸一らが考えたものだ。類書中、群を抜くべきである。
- 第6巻「占領」―出版ニュース(90・11月中旬号) 占領軍司令部に対する日本支配層の「国体護持」を企図したさまざまな「攻勢」の全貌が描かれる。今日の天皇のあり方を決定づけた節目としても重要な労作。
- 第7巻「延命」―週刊読売(92・3・15号) 近衛文磨等の責任は追及したがGHQはなぜ、天皇の責任は追及しなかったか。―田中は一方的な天皇批判だけでなく資料に語らせ読者を強烈に引く張る。
- 第8巻「靈堂」―朝日新聞(93・3・28) 昭和天皇の誕生から一九四六年の憲法草案が出来るまでを扱った「ドキュメント 昭和天皇」が一九〇年がかりで完結した。戦争責任の所在を検証している。



### ■ 造本・体裁

- 四六判・上製●本文Ⅱ9ポ46字
- 18行一段組●各巻巻扉に関連写真
- 全8巻8冊●総ページ3500
- ページ●原稿総枚数約83000枚

### ■ 刊行開始

- 一九八四年七月
- 完 結Ⅱ一九九三年三月
- セット価格Ⅱ税込2万1218円
- (定価2万6000円+税618円)

緑風出版

東京都文京区本郷1-8-3 桜ビル 振替東京0-30776  
〒113 TEL 03-3812-9420 FAX 03-3812-7262

刊行10年・全巻完結!



# 昭和天皇

田中伸尚

全8巻  
全巻書下し



緑風出版



## 第1巻 侵略

泥沼の中国侵略から太平洋戦争前夜に至る激動の時代を天皇を頂点とする宮中・政府・軍部の緊張関係として描くプロローグ

- 第一章 侵略と追認
- 第二章 対米戦も辞せず
- 第三章 東条に大命
- 第四章 宮中の激論
- 第五章 無言の決断

1984年7月刊 三〇〇頁 定価1900円十税  
ISBN4-9461-8414-5 C0021



## 第2巻 開戦

御前会議で「開戦の聖断」は下った。すでに海軍機動部隊は太平洋を東進しパール・ハーバーに照準を合わせた

- 第一章 日米交渉
- 第二章 毒ガス戦
- 第三章 四一年晩秋
- 第四章 交渉決裂
- 第五章 前夜
- 第六章 開戦

1985年4月刊 四〇八頁 定価2200円十税  
ISBN4-9461-8518-4 C0021



## 第3巻 崩壊

緒戦の勝利もつかの間ミッドウエー大敗以降敗勢おおうべくもない。「米軍をビシヤリと叩けぬか」と叫ぶ天皇

- 第一章 華麗な元旦
- 第二章 神々の侵略
- 第三章 驕慢と油断
- 第四章 敗北
- 第五章 焦慮と怒り
- 第六章 崩壊

1986年1月刊 四五四頁 定価2400円十税  
ISBN4-9461-8521-4 C0021



## 第4巻 敗戦 [上]

国体護持のため終戦工作が密かに開始される。もう一度戦果をと啖く天皇。連合国軍は本土を空襲し沖縄に迫る

- 第一章 東条放逐
- 第二章 決戦への幻想
- 第三章 「戦局ノ危急」
- 第四章 連合艦隊の潰滅
- 第五章 特攻
- 第六章 天皇の動搖
- 第七章 ヤルタ
- 第八章 首都炎上

1987年4月刊 五〇四頁 定価2800円十税  
ISBN4-9461-8728-4 C0021



## 第5巻 敗戦 [下]

戦争遂行を断念した天皇は皇族会議で「たのみ頼む」と訴え、聖断のシナリオを演ずる。敗戦直前の宮中を追う

- 第一章 沖縄
- 第二章 ヒトラーの最期
- 第三章 攻囲された日本
- 第四章 「和平」工作
- 第五章 ボツダム
- 第六章 「聖断」神話
- 第七章 敗戦

1988年5月刊 六一八頁 定価3200円十税  
ISBN4-9461-8832-9 C0021



## 第6巻 占領

国体護持のため必死の工作が進められるなか占領軍進駐戦犯逮捕が始まる。遂に天皇はマッカーサーを訪問する

- 第一章 武装解除
- 第二章 進駐
- 第三章 降伏文書調印
- 第四章 マ元帥訪問

1990年9月刊 二七四頁 定価2000円十税  
ISBN4-9461-9043-9 C0021



## 第7巻 延命

天皇制と自らの延命を賭け連合国の動向を探る天皇。米本土にたかまる戦争責任追及の波は皇室にひた寄せる

- 第一章 改憲への深謀
- 第二章 天皇を救う人びと
- 第三章 内大臣府廃止
- 第四章 戦犯と天皇
- 第五章 藩屏たちの運命

1992年2月刊 三〇二頁 定価2500円十税  
ISBN4-9461-9255-5 C0021



## 第8巻 象徴

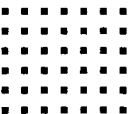
天皇の生残りをかけた譲歩と占領政策円滑化のための天皇制利用。両者の攻防は憲法改正をめぐる頂点に達す

- 第一章 神格
- 第二章 神性の否定
- 第三章 緊急電
- 第四章 天皇の戦い
- 第五章 象徴
- 第六章 巡幸のなかで
- 第七章 不許追

1993年3月刊 五〇九頁 定価3600円十税  
ISBN4-9461-9364-0 C0021



1944年東京に生まれる。67年慶応大卒業。朝日新聞記者として10年間活躍。のち、フリーのジャーナリストとなる。主要著書に「大阪国際空港対市民（たいまつ）新書」「反成田空港運動（共著、技術と人間（自衛隊よ、夫を返せ！）（現代書館）「関西新国際空港を撃つ」（二）書房）「大正天皇の大葬」（第三書館）「よりよい医療を買ったために」（社会思想社）など多数ある。



切り取って表面にご記入の上、最寄りの書店にお申し込み下さい。小社への直接注文もお受け致しますが、その場合冊数に関係なく一回につき送料三〇〇円をご負担いただきます